

2022年度 愛知県認知症希望大使 活動一覧

- 【5月21日】福祉講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました 2
- 【7月14日】名鉄看護専門学校にて大使の近藤さんが特別講義を行いました
..... 2
- 【9月6日】尾張旭市にて大使の近藤さんが講演を行いました 3
- 【9月17日】「認知症県民フォーラム」に大使のお二人が出演されました 3
- 【9月25日】阿久比町の認知症講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました
..... 5
- 【10月4日】日進市の介護予防講演会で大使の内田さんが講演を行いました。
..... 5
- 【10月12日】愛知県立大学で、大使の近藤さんが講演を行いました 6
- 【10月12日】名古屋市瑞穂区の認知症サポーターステップアップ講座にて大使の内田さ
さんが講演を行いました 6
- 【11月10日】愛知県立南陽高校にて大使の内田さんが出前講座を行いました
..... 7
- 【11月15日】北名古屋市の認知症講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました
..... 7
- 【12月4日】東浦町の認知症講座にて大使の内田さんが講演を行いました
..... 8
- 【1月20日】東区の元気いきいきフェアにて大使の近藤さんが講演を行いました
..... 8
- 【1月25日】愛知県認知症ピアサポート活動研修会にて愛知県、岐阜県、静岡県の大使が
登壇しました 9
- 【2月1日】西尾市の認知症カフェにて大使の内田さんが当事者同士で交流を行いました
..... 9

【5月21日】福祉講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました

桜井地区社会福祉協議会主催の福祉講演会で、大使の近藤さんが活動パートナーとともに講演を行いました。

参加者からは、「認知症の印象が変わった。認知症であってもなくても、その人をよく知り、その人に合った関わりをしていくことが大切だと思った。」「出来ることにスポットライトを当てることと、周りの方、地域が相互理解を深めることが大切だと思った。」など、多くの感想が寄せられました。



【講演会の様子】

【7月14日】名鉄看護専門学校にて大使の近藤さんが特別講義を行いました

3年生、学校教員を対象として、近藤さんが活動パートナーとともに出前講座を行いました。

【参加された受講学生の声（抜粋）】

近藤さんのお話を聞くまでは、認知症に対してはマイナスのイメージがありました。しかし、認知症と診断されることで、自分自身で納得することができ、そこから新たな行動に繋がるということを知りました。当事者の方々が認知症についての知識が少ないと、不安や孤独、社会的孤立に繋がることもわかりました。看護学生として、正しい知識をもち、認知症の方が、社会から切り離されないよう、社会資源の情報提供をし、その人の背景を理解し、価値観を尊重して関わることを大切にしていきたいです。



【講義の様子】

【9月6日】尾張旭市にて大使の近藤さんが講演を行いました

尾張旭市高齢者教室と認知症サポーターステップアップ研修を共催とし、「若年性認知症のご本人から学ぶ、認知症とともに地域で暮らし続けるためのヒント」をテーマに近藤さんが講演を行いました。

参加者からは、認知症というものを誤解していた（認知症になると何も出来なくなると思っていた）、ちょっとしたことなら自分でも援助できるなどの感想をいただきました。



【講演会の様子】

【9月17日】「認知症県民フォーラム」に大使のお二人が出演されました

愛知県産業労働センター（ウインクあいち）にて開催された「認知症県民フォーラム」に、大使のお二人がパネリストとしてご登壇されました。

このフォーラムでは、大使のお2人による「『愛知県認知症希望大使』に聞いてみよう！認知症のこと、本人の気持ち。」と題してのトークショーのほか、「あいち認知症パートナー企業」にご登録いただいている企業様による取組発表や、認知症のご家族の介護をされてきた新田恵利さん（元おニャン子クラブ）をゲストに「『認知症とともに生きる』～どう向き合う？自分や家族の認知症」をテーマとしたトークショーが開催されました。

大使のトークショーについては、以下のリンクからご視聴いただけます。

https://youtu.be/_xXb-FbTEkY

【トークショー概要（実際のお言葉とは異なります）】

○認知症の経緯

- ・診断されてから前向きになるまでに時間がかかったが、病院の先生から認知症ご本人とご家族が集まる会（あゆみの会）を紹介され、今はたくさんの当事者同士で楽しく過ごしている（近藤さん）。
- ・自分が認知症であることについて、そんなに気にしたことはない（内田さん）。
- ・認知症の方の介護には、車の両輪のように、ご本人とご家族両方の気持ちに寄り添って支援することが必要（眞智さん（大使の活動パートナー））。

○地域での活動

- ・近藤さんは、苦しんでいる認知症ご本人に元気を与えたいという思いで、講演活動などの大使の活動をされている。人とのつながりは大切(伊藤さん(大使の活動パートナー))。
- ・言いづらいと思うが、ぜひ「自分が認知症です」と言ったほうが良い。言うことにより、自分は生きやすくなった(近藤さん)。
- ・前向きな考え方と、人と会うことが元気の秘訣(内田さん)。

○認知症とともに生きる

- ・認知症サポーター養成講座を受講し、認知症のことを少しでも理解して、オレンジリングを身に着けてほしい(近藤さん)。
- ・やってあげる、ではなく、「一緒にやろう」という関係が素敵だと思う(近藤さん)。
- ・内田さんはよく、「自分に持っていないものは相手が持っている」とお話しされる。困ったときは遠慮しないで、自然と助け合える世の中になるといいな、と一緒に話している(眞智さん(大使の活動パートナー))。



【大使と愛知県作業療法士会の皆様との集合写真】



【県民フォーラムの様子】

【9月25日】阿久比町の認知症講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました

「認知症とともに生きる～認知症の人やその家族が安心して暮らせる阿久比町を目指して～」をテーマとして、近藤さんに発症から現在に至るまでの体験談や、認知症になっても希望を持って生きること、住み慣れた地域で暮らし続けるために大切なことについてご講演いただきました。

参加者からは、「認知症でありながら、前向きに明るく過ごされている姿がとてもカッコよかった」「認知症になっても、皆に助けをもらいながら、楽しく生きていけると思えてきた」などの感想をいただきました。



【講演会の様子】

【10月4日】日進市の介護予防講演会で大使の内田さんが講演を行いました

介護予防講演会「認知症とともに生きる ～人とつながり自分らしく歩んでいこう～」にて、内田さんが講演を行いました。

第1部では、内田さんと支援者との対談講演を行いました。「自分らしく前向きに過ごす秘訣は？」と聞かれたとき、内田さんは「認知症だからといって閉じこもるのではなく『自分にはないものは相手が持っている』と考え、『人に頼る』『助け合う』気持ちでいることです」と答えられました。

第2部では、会場を分けて開催しました。支援者の眞智さんの進行で「自分にできることを考えよう」をテーマにミニワークショップを開催し、参加者は日常生活における工夫や周囲の支え方など自分にできることをカードに記入、会場に展示しました。

別室では、認知症本人交流会、家族交流会が行われました。本人交流会では、内田さんが4組の当事者の方と交流を行いました。



【講演会の様子】

【10月12日】 愛知県立大学で大使の近藤さんが講演を行いました

若年性認知症への理解を深めるため、一般の方、学生向けに、「認知症とともに生きる」というテーマで、若年性認知症と診断された近藤さんが活動パートナーとともに対談形式で講演を行いました。

担当者からは、「近藤さん自身がとても明るく素敵な人柄で、とても居心地のよい時間になった。今回の講演会を実施したことが多くの方とのつながりが生まれ、今後の活動のきっかけになるような気がする。」との感想をいただきました。



【近藤さんと近藤さんが作成された押し花作品】



【講演会の様子】

【10月12日】名古屋市瑞穂区の認知症サポーターステップアップ講座にて大使の内田さんが講演を行いました

瑞穂区東部・西部いきいき支援センター主催の認知症サポーターステップアップ講座にて、内田さんが活動パートナーの眞智さんとの対談を行った後、受講者とともにグループワークを行いました。

対談では、内田さんに認知症当事者や活動パートナーとの外出を楽しんでいる話、大使としての活動のこと、当事者への思い等様々な話をさせていただきました。質疑応答では、認知症と診断された時の気持ちや日常生活上のサポートについての質問にパートナーと共に返答されました。参加者からは「これからのサポーターとしての接し方が少し変わると思う。認知症の人ではなくその人そのものをみて接していきたい」「前向きで積極的に活動している内田さんを見習いたい」等意見をいただきました。



【講座の様子】



【参加者との集合写真】

【11月10日】愛知県立南陽高校にて大使の内田さんが出前講座を行いました

港区西部いきいき支援センターでは、年度を通して南陽高校福祉ネットワーク科の学生向けに地域包括ケアシステムと福祉についての講義を担当しています。当日は、認知症地域支援推進員による活動内容紹介のほか、大使の内田さんと学生が交流を行いました。

内田さんは、「嫌なことがあっても引きずらないこと。上手くいったとき、頑張ったときは自分を褒めることが大事!」と話されていました。学生からは、「認知症の方にもいろいろな症状があると分かった」「認知症は誰もなりうるし、自然なことだと改めて思った。認知症の方への抵抗がなくなった」などの感想をいただきました。



【講座の様子】



【参加者との集合写真】

【11月15日】北名古屋市の認知症講演会にて大使の近藤さんが講演を行いました

「認知症になっても希望をもって暮らしていける、認知症にやさしいまちづくり」を目指すために、大使の近藤さんに希望大使の体験談や活動についてお話しいただきました。当日は200名以上の方が参加されました。

参加者からは、「前向きに生活されていて素敵でした」「認知症のイメージが変わりました」等の感想をいただきました。



【講演会の様子】

【12月4日】東浦町の認知症講座にて大使の内田さんが講演を行いました

東浦町社会福祉協議会主催の「認知症を知る講座」に、大使の内田さんが出演されました。

第1部では、ご自身が認知症と診断されてから、どのように向き合っているか、周囲の人々にどのように接してほしいか、日常生活の中で何を楽しみに生活しているか等、「認知症になっても自分らしく暮らすために」というテーマでお話しいただきました。

第2部では、地域住民の方との交流を行いました。大使の近藤さんも参加されており、お二人とも交流を楽しまれていました。



【講演会の様子】



【大使の近藤さん(左)と内田さん(右)】

【1月20日】東区の元気いきいきフェアにて大使の近藤さんが講演を行いました

東区地域包括ケア推進会議・同認知症専門部会主催の「元気いきいきフェア」にて、大使の近藤さんが講演を行いました。認知症になっても明るく元気に暮らすコツや、認知症について知ってほしいことなどをお話しいただきました。参加者からは、「前向きに毎日過ごすことを心がけようと思った」「明るく暮らすには周りの人の支援が大切だと思った」などの感想がありました。

会場には、近藤さんが作られた押し花の作品も展示されました。



【講演会の様子】



【近藤さんの押し花作品】

【1月25日】愛知県認知症ピアサポート活動研修会にて愛知県、岐阜県、静岡県の大使が登壇しました

西文化小劇場にて「令和4年度愛知県認知症ピアサポート活動研修会」を開催しました。地域でのピアサポート活動を推進するために、愛知県、岐阜県、静岡県の大使や活動パートナーに御登壇いただき、ピアサポートとは何か、御本人が交流しやすい場とは、サポートするうえで大切なことは、などについてお話しいただきました。

▼詳しくはこちら

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/chiikihoukatu/r4ninchisyuu-peersupport-katsudoukennsyuu.html>

▼動画はこちら

第1部（約38分）

<https://youtu.be/u3o6XfMoR58>

第2部(1)（約42分）

https://youtu.be/_P7spUoGGdo

第2部(2)（約15分）

https://youtu.be/pl8_U-OFjno



【2月1日】西尾市の認知症カフェにて大使の内田さんが当事者同士で交流を行いました

西尾市の喫茶店「K-5COFFEE」で、大使の内田さんが地元の認知症当事者と交流を行いました。この認知症カフェは、「認知症の人が、認知症だと意識せず『気楽に』入れるカフェがあったらいいな」という地域住民の声をもとに、認知症サポーターや地域包括支援センター、カフェのオーナーさんが協力して始められました。

当日はご本人が8人参加し、内田さんと一緒に楽しい時間を過ごしていました。担当者からは、「ご本人同士だと通じるものがあることを改めて実感した」「当事者の社会参加の大切さを改めて感じた」などの意見をいただきました。



【交流の様子】